

# とやま

県広報とやま

2003

6月号

No.400

富山県

**特集 バイオで拓く新産業** —富山バイオバレー構想を進めています—

クローズアップ 身近なふるさとを楽しもう！



県内に在住する外国語指導助手や国際交流員などが日頃の感謝を込めて公演を行う富山インターナショナルチャリティーショーのメンバーの皆さん。

知的クラスター創成事業  
産学官の連携により、地域の特色ある研究開発を行い新産業を創出しようとする事業。クラスターとは、関連する産業や研究機関の集まりのことを指す。

**医薬と電子の技術を合わせた新しい研究開発を実施**

推進本部の共同研究プロジェクトでは、植物の遺伝子を利用し、化学合成が困難な医薬品原料を生産する技術や漢方などの伝統医学を活用し、生活習慣病を克服する研究が進められてきました。

また、さらなる研究を進めるため文部科学省の知的クラスター創成事業に「とやま医薬バイオクラスター」を提案し、平成十五年二月に実施地域として選定されました。この選定により今後五年間にわたり、産学官による大型の共同研究が行われます。研究では、ヒトの免疫機能を活用した医療システムと医薬品の実用化（図）や新時代に対応した和漢薬の創出（図）などを目指しています。

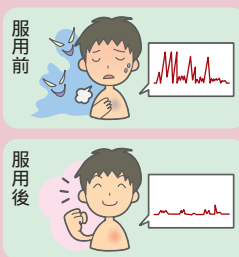
「とやま医薬バイオクラスター」では、富山医科薬科大学や県立大学などが有する医薬バイオの技術と富山大学や県工業技術センターなどがある電子・機械の技術の融合を図っています。

### 図 患者の体質に応じた漢方の診断・治療システム

漢方の診断は大変複雑で、同じ病気の人でも症状や体質が違えば用いる漢方薬も違います。



人間の健康に大切な役目を果たしているタンパク質の状況を測定し、漢方薬の服用前後でタンパク質の種類にどのような変化があったかを調べ、病気がよくなった原因を判定します。

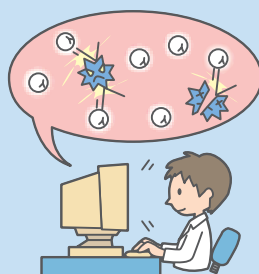


症状や体質ごとのタンパク質のデータを収集できれば、患者のタンパク質の状況と収集したデータとを照合するだけで、その人にあった漢方薬を簡単に選び出すことができます。また、データを詳しく分析すれば、新しい薬を生み出すこともできます。



### 図 ヒトの免疫機能を活用した感染症などの診断・治療システム

体の中に病原菌が入ると、血液などにあるリンパ球が抗体を作り、体を守ろうと動き出します。その患者からリンパ球を取りだし、病原菌を攻撃する抗体を作っているリンパ球を特定します。



特定したリンパ球の抗体遺伝子の構造が分かれば、バイオ技術で同じ構造の抗体を大量生産し、患者に投与することで、病気の治療につなげることができます。



さまざまな病原菌に反応するリンパ球の研究を進めていくことで、感染症などの迅速な診断・治療が可能になります。



富山ならではの産業づくりを目指しています



バイオバレープロジェクト推進本部 副本部長 南日 康夫さん

富山バイオバレー構想は、産学官による研究の成果を利用して、地域の産業の振興に結びつけることが大きな目的です。研究は、当初の予想よりも順調にいくと思っています。バイオ関連の産業は、医療のほか幅広い分野に拡大しています。富山のものづくりの技術と薬の伝統を結びつけることで、富山らしい新しい産業へと発展させていきます。

県では、富山バイオバレー構想を推進することで、一人ひとりにあった医療診断・治療システムを可能とするほか、次の時代を担う新しい産業を生み出し、本県の経済発展や雇用の安定につなげていきたいと考えています。

● 特集についての問合せは  
県庁商工企画課  
076(444)3245

# バイオで拓く新産業

## ー富山バイオバレー構想を進めていますー

バイオテクノロジーは、21世紀の社会を支える先端技術として大きな期待が寄せられており、関連する産業は、これから大きく成長するといわれています。県では、バイオ関連の新産業を育成するため、研究機能や産業を集積する「富山バイオバレー構想」を進めています。

「バイオテクノロジー」  
生物を工学的に研究し、応用する技術のこと。  
最近では、遺伝子やタンパク質解析などの技術を医療分野に应用している。略してバイオという。

### 本県の特長をバイオに活用

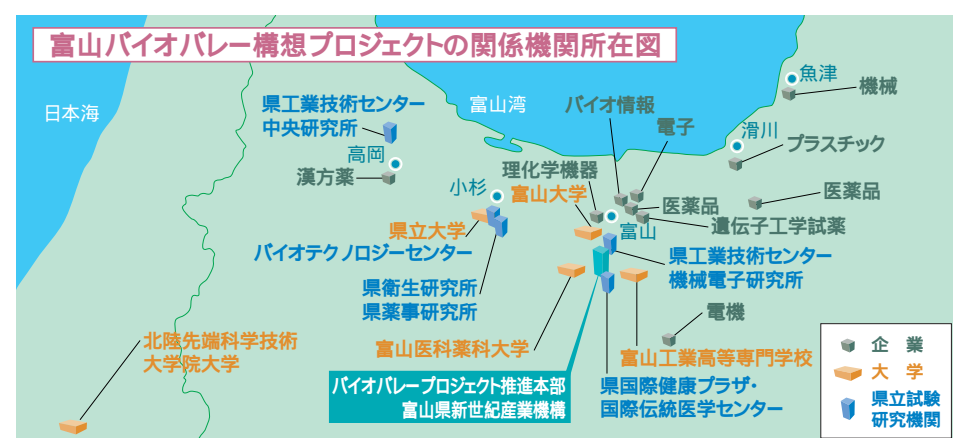
バイオテクノロジーは、農林水産業、医薬品製造業、化学工業、食品工業などいろいろな産業分野で応用が可能な技術です。

本県には、三百余年に及ぶ医薬の伝統や日本海側屈指の工業集積が形成されています。県では、この特長を生かした「富山バイオバレー構想」を進めています。この構想では、

大学などでのバイオ技術を活用した大型共同研究プロジェクトの推進、県内企業のバイオ分野への進出、バイオ関連の県外企業の県内への誘致や県内企業との連携、バイオ技術を生かして、新たな事業に取り組み企業の育成を図っています。

これにより、富山・高岡地域を中心に生命に関するさまざまな分野の科学技術、産業、医療などが集まり、「生命科学の国際拠点」として確立することを目指しています。

バイオバレー  
半導体の企業、研究機関などが集まるアメリカの工業地帯「シリコンバレー」のようにバイオ分野での産業集積を目指すもの



**産学官の力を結集**

富山バイオバレー構想は、企業、大学、県立試験研究機関の産・学・官が連携して進められています。平成十四年四月には、推進の拠点として、(財)富山県新世紀産業機構にバイオバレープロジェクト推進本部が設置され、さまざまな共同研究が実施されています。

# 身近なふるさとを 楽しもう！

近年、余暇の使い方が大きく変化し、これまでの「見て、楽しむ」ものから、「体験する、学ぶ」ものが求められています。なかでも、緑豊かな農山漁村地域において、自然、文化、人々との交流などを楽しむ滞在型の余暇活動「グリーン・ツーリズム」が注目を集めています。



## 自然の中で農林漁業体験

本県は、狭い範囲に海、山、川が凝縮しており、私たちのすぐ身近なところに緑豊かな自然が広がっています。この自然を生かし、農林漁業を体験しながら余暇を過ごすグリーン・ツーリズムの取り組みが県内各地域で行われています。

グリーン・ツーリズムに参加した人は「ゆとり」や「やすらぎ」を得ることが出来ます。また、農山漁村地域では、所得の増加や就業機会の増大など地域の活性化に役立っています。

県では、平成十四年三月に「とやまグリーン・ツーリズム推進プラン」を策定し、この取り組みが県内全域に広がるようさまざまな施策を実施しています。

## ふるさと発見

### 県内のグリーン・ツーリズム

#### 事例 みのり棚田の学校(八尾町)



田植え、稲刈りなどを体験しながら、農村の皆さんとの交流を深めます。

問合せ 八尾町農林課  
☎ 076(454)3111

#### 事例 そばオーナー農園(利賀村)



そば畑のオーナーになってそば栽培を行い、そば粉作り、そば打ち体験を行います。

問合せ 利賀村産業振興課  
☎ 0763(68)2111

#### 事例 地引き網体験(氷見市)



参加者全員で漁師の仕掛けた網を引き上げます。獲れたての魚をその場で調理してもらうこともできます。

問合せ 島尾キャンプ場  
☎ 0766(91)0074

#### 事例 森林サポーターの養成



森林の手入れができるように、林業に関する知識やチェーンソーの操作などの技術を修得します。

問合せ (社)県農林水産公社  
☎ 076(441)5292

平成15年度参加者募集中  
定員30名 締切7/31(申込順)

ホームページでは、県内各地のグリーン・ツーリズムを紹介しています。

「とやまG・ナビゲーター」  
<http://www.pref.toyama.jp/sections/1605/toyamagt/top.html>



## グリーン・ツーリズム推進プランの五つの柱

- グリーン・ツーリズムの良さをお知らせします
- ことやまグリーン・ツーリズムまるごとマップやホームページの作成
- 魅力あるメニューを提供します
- 観光とセットになった周遊コースの検討
- 地域の伝統文化などを生かしたイベントの創出
- 交流施設などの充実を図ります
- 宿泊施設や農産物の加工・直売施設などの整備
- 案内標識などの整備
- 人材育成に努めます
- 経験豊富な高齢者の知識・技術の活用
- 地域で企画・体験指導を行うための研修会などの実施
- 情報の受発信に力を入れます
- 都市部でのイベント開催・出版・観光と連携した企画の実施
- 修学旅行・遠足などの誘致

## 農山漁村地域の活性化

グリーン・ツーリズムを含めた都市と農山漁村の交流をさらに進めるため、都市との交流による農山漁村地域の活性化に関する条例が平成十五年四月に施行されました。この条例では、

農山漁村と農林漁業の持ついろいろな機能を向上させ、地域の活性化につなげることに  
農山漁村における就業の場の確保と地域住民の生活の安定を目指すこと  
農山漁村について県民の理解を深め、郷土愛を育てること  
を目標としています。

皆さんも身近なふるさとでの体験を楽しみ、日頃の生活では得られない充実感を味わってみませんか。

● 問合せ 県庁農村環境課  
☎ 076(444)9011

## 富山インターナショナル チャリティーショーの メンバーの皆さん

ミシカ・ピンタリックスさん(左)  
カナダ出身  
外国語指導助手(小矢部市)

キャサリン・ルールさん(後列)  
オーストラリア出身  
外国語指導助手(県立井波高校)

ジャネット・ロックさん(右)  
アメリカ出身 県国際交流員



県内には、外国語指導助手や国際交流員として多くの外国人青年が活躍している。そのメンバーが、「お世話になっている富山県の人々に恩返しをしたい」という気持ちから始めたのが、富山インターナショナルチャリティーショー。今年で第13回目を迎え、収益は県内の盲・ろう・養護学校などに寄付している。

# 手づくりのショーで 富山の人へ感謝のメッセージ

とやまの

やる気・元気

### 脚本も衣装も自分たちで

「富山での生活を楽しむことができるのは、皆さんのおかげです。だから、感謝の気持ちを何かの形で伝えたくて」

そう話すキャサリンさんは、ミュージカルに出演するため一月から練習に励んでいる。チャリティーショーは、ミュージカルのほかに、コーラス、ダンスなど多彩な構成だ。「何でもいい。とにかく自分ができることで参加しようと思ったんです」と言うジャネットさんは、なわとびのパフォーマンスを披露する。

ショーでは、脚本や衣装、小道具の制作も全部自分たちで行う。「できるだけ多くの寄付をしたいから、余計なお金はかけたくないんです」と、ミシカさん。「富山の人は温かいですね。道に迷った時、『一



昨年のショーでは、ミュージカル「禁じられた愛をかけた戦い」を熟演。

緒に行きましょう」と案内してもらいました。慣れない異国での生活、そこで出会う「温かさ」に何度も助けられたという。

### 異なる文化を認めあつて

大学で人類学を勉強していたというキャサリンさんは、「実際に日本に来て、世界にはいろいろな考え方がありと実感しましたと話す。

言葉も文化も異なる日本で、国際交流の一翼を担うメンバーたち。「言葉の壁よりも、まずどう説明したら相手がわかってくれるか自分想像することです」と言うミシカさんの言葉は、「コミュニケーションの原点でもある。

ジャネットさんは、国際交流員としての経験のなかで、「英語以外にもいろいろある言語、文化があることを忘れないことが大切」と感じたといい。自国の文化を誇りに思うと同時に、他の文化を認めていくメンバーたちの笑顔は輝いている。

### いろんな人に見に来てほしい

ミュージカルは、英語と日本語で展開するが、できるだけわかりやすい英語を使うよう心がけた。「きつとわかりますよ(笑)」。舞台は



ミュージカルの練習に励むメンバー。キャサリンさんは、ダンサーの役で出演する。練習は週に1回程度。メンバーは県内各地にいるため、スケジュールの調整などで大変だという。

### 第13回富山インターナショナル チャリティーショー

日 時 / 6月21日(土)  
午後1時～、午後6時～

場 所 / 高岡文化ホール

料 金 / 大人 1,000円、  
小・中学生、高校生 500円

内 容 / ミュージカル  
「フランキー・コロンと踊り子たち」  
コーラス  
ラテンダンス  
マジックショー  
なわとびパフォーマンス  
武道演技 など

富山県で、富山弁のせりふも取り入れているので、楽しんでほしい」と話すキャサリンさん。

「舞台が終わって、観客の皆さんの反応を見るのが楽しみ」とミシカさんは心をはずませる。

文化や言葉の違いはあっても、感謝の心や誰かの役に立ちたいという気持ちはみんな同じ。この七月に任期を終え、帰国するメンバーもいる。「ありがとう富山」の思いを込めて、舞台の上から楽しく、そして素敵なメッセージを送ってくれるだろう。

3月

- 23日・第26回全国高等学校ハンドボール選抜大会(～28日)  
29日・北陸自動車道富山西インターチェンジ開通式



高速道路へのアクセスが向上し、地域経済の活性化が期待されている。

- 30日・主要地方道新湊平岡線開通式  
主要地方道高岡環状線(1期区間)開通式

4月

- 1日・県ひとづくり財団発足式  
県農林水産公社発足式  
県医療安全相談センター開設  
5日・近代美術館新装拡大オープン  
9日・地球環境大賞授賞式



日本工業新聞社提供  
環日本海の環境保全の取り組みなどが評価され、優秀環境自治体賞を受賞。

- 11日・富山くすりフェア(～13日)  
13日・県議会議員選挙投票日  
18日・第1回富山県中国事務所検討委員会



中国事務所の機能や設置場所について話し合われた。

- 26日・県警察装備センター竣工式  
ソウル便就航10周年記念式典  
利賀フェスティバル(～5月1日)

5月

- 9日・置県の日(置県120年)  
TIC日本語学校開校式  
11日・地域防災力強化シンポジウム03 in 富山



音楽活動をしているのですが、県の施設がもっと利用しやすくなりませんか。



県立文化ホールについて、使用日が迫った申込みの際などには使用料を減免する制度を新たに設けました(文化芸術活動での使用に限ります)また、ホールの利用時間も1時間延長しました。ぜひご活用ください。

#### 減免対象ホール

県民会館、教育文化会館、高岡文化ホール、新川文化ホール、県民小劇場

#### 減免内容

| 利用区分                      |        | 減免率 | 条件など                                                                |
|---------------------------|--------|-----|---------------------------------------------------------------------|
| 使用日が迫ったホールの申込み            | 練習での使用 | 5割  | 申込日から利用日までの期間が2ヶ月以内の場合                                              |
|                           | 行事での使用 | 3割  | 申込日から利用日までの期間が3ヶ月以内の場合                                              |
| 子ども、高齢者、障害者が参加する行事でのホール使用 |        | 3割  | 対象となる団体<br>・幼稚園、小・中学校、高等学校、特殊学校<br>・児童福祉施設、障害者施設<br>・子ども、高齢者、障害者の団体 |
| ホール使用後の後片付け               |        | 5割  | 午後9時～10時までの1時間                                                      |
| 文化教室での継続的な会議室等の使用         |        | 1割  | 年間24回以上の利用を一括して申請する場合                                               |

#### ホールの利用時間

午前9時(県民小劇場のみ午前10時)～午後10時

●問合せ 県庁生活文化課 ☎076(444)9616



犬の飼い方のマナーが悪い人を多く見かけます。何とかならないのでしょうか。



県では、飼い主向けパンフレットの配布など、ペット動物が適切に飼われるよう努めています。さらに、今年7月からは、各地域で動物愛護推進員を委嘱し、マナーの向上をはじめ、動物愛護の精神が広がるよう普及啓発を行います。

●問合せ 県庁食品生活衛生課 ☎076(444)3230



子育てがうまくいかず悩んでいます。相談できるところはありますか。



県では、専門家がアドバイスする電話相談やカウンセリングを行っているほか、子育てや家庭教育に関する情報をホームページで紹介しています。

電話相談 子育てほっとライン ☎076(433)4150

月～金 午前10時～午後11時 土 午後5時～11時  
上記以外の時間はファックス、留守番電話で対応しています。

家庭教育カウンセリング 場所 / 県民会館6階

毎週月曜日 午前9時～午後5時 毎週木曜日 午後1時～5時  
申込みは「子育てほっとライン」で受け付けています。

子育て情報バンク「子育てネット!とやま」

ホームページ <http://www.ccare.shiminjuku.com/>

●問合せ 県教育委員会生涯学習室 ☎076(444)3435



これからいろいろな声をお寄せください。

はがき

〒930-8501  
(住所記入不要)  
「県民のひろば」係

県民相談電話・  
FAX・  
Eメール

TEL.076(431)3131  
FAX.076(444)3300  
E-mail.koho@pref.toyama.lg.jp

皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山的话题を紹介します。今回は平成15年3月～4月に紹介された話題の中からいくつかを紹介します。なお、ここで紹介しきれなかったものは県広報課のホームページでご覧になれます。

## シロエビは元気の源！

世界中で富山湾でしか獲れず、他のエビよりも栄養が豊富でビタミンA・Eやタウリンが多く含まれていることを紹介した。



○4月7日 日本テレビ「おもいっきりテレビ」

## 豊かな家庭の秘密は家族愛

総務省の調査では、富山市の勤労者世帯の月平均収入が5年連続全国1位となっていることを取り上げた。家族がみんな一緒に暮らし、稼ぎを持ち寄っているから、とその理由を紹介した。



○週刊新潮 4月10日号

## 富山の美味が人気漫画に登場！

「日本全県味巡り 富山編」で、富山の大自然が生み出す海の幸、山の幸を取り上げ、古い歴史と生活文化が今でも生きている富山の食文化の奥深さを紹介した。



○「美味しんぼ」第84巻

## 富山のチューリップをPR

富山県のチューリップの球根出荷量が全国の56%を占め4,600万球に及ぶことや、青色のチューリップの開発が進められていることを紹介した。



○4月14日 Japan FM Network「ヒルサイド・アベニュー」

## やっぱり、住みよい富山県

全国678都市を対象とした住みよさランキングで、住環境が充実していることなどから砺波市が2位に選ばれた。その他、100位以内に富山市、高岡市、黒部市、魚津市、滑川市が入っている。



○都市データバック 2003年版

## 今後の予定

「ふるさと自慢コンサート」(滑川市)

NHK ラジオ第一 6月1日(日)午後8:05～8:55

「NHKのど自慢」(小杉町)

NHK 総合、衛星第2、ラジオ第一 6月29日(日)午後0:15～1:00

「ひるどき日本列島」～立山 山開き(仮)～

NHK 総合 7月7日(日)午後0:20～0:43

富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

## 県政クイズ

農林漁業体験を行いながら、自然の中で余暇を過ごす取り組みを「○○○○・ツーリズム」と言います。

(○○○○を埋めてください。)

→答えは3ページを読めばわかります。

### 応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、富山県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」まで。  
締切/6月23日(月)(消印有効)

正解者の中から20名の方に、「とやま健康パーク」1日利用券をペアでプレゼントします。  
(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。)



## とやまの情報お伝えします!【6月の県政番組・お知らせ】 番組タイトルは、いずれも仮題です。

### こんにちは富山県です

北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

- 1日 命のカギを握る応急手当
- 8日 くらしを守るとやまの砂防
- 15日 住みよい家から住みたい家へ
- 22日 わがまち自慢～庄川町～
- 29日 交通事故ゼロを目指して

### とやまDASH! フォーカス・イン

富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

- 1日 お仕事シリーズ第2弾
- 8日 とやまのめでたい物語り
- 15日 県内小学生スーパーキッズ
- 22日 富山海の幸 山の幸

### 富山が元気。見たモン勝ち2

チューリップテレビ 第4日曜 10:00～10:52

22日 とやまの中のインターナショナル

### とやま県間録

F M とやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40  
毎週土曜 11:30～11:55

### ■新聞広報「県からのお知らせ」

6月14日、28日の朝刊各紙に掲載予定

### ■富山県ホームページ

<http://www.pref.toyama.jp/>

## 編集部から

今月から誌面の一部を刷新いたしました。新しく始まった「県民のひろば」では、県民の皆さんのご意見、ご提案をお待ちしております。発行第400号を迎え、気持ちも新たに親しみやすい誌面づくりに心がけますので、今後ともご愛読願います。

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

「県広報とやま」に関する  
ご連絡、ご質問は

〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課まで  
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 E-mail [koho@pref.toyama.lg.jp](mailto:koho@pref.toyama.lg.jp)  
ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>



皆さんに郷土の良さを再発見・再認識していただくため、新聞・テレビ・雑誌など、さまざまなメディアで全国で紹介された富山的话题を紹介します。今回は平成15年3月～4月に紹介された話題の中からいくつかを紹介します。なお、ここで紹介しきれなかったものは県広報課のホームページでご覧になれます。

## シロエビは元気の源！

世界中で富山湾でしか獲れず、他のエビよりも栄養が豊富でビタミンA・Eやタウリンが多く含まれていることを紹介した。



4月7日 日本テレビ「おもいっきりテレビ」

## 豊かな家庭の秘密は家族愛

総務省の調査では、富山市の勤労者世帯の月平均収入が5年連続全国1位となっていることを取り上げた。家族がみんな一緒に暮らし、稼ぎを持ち寄っているから、とその理由を紹介した。



週刊新潮 4月10日号

## 富山の美味が人気漫画に登場！

「日本全県味巡り 富山編」で、富山の大自然が生み出す海の幸、山の幸を取り上げ、古い歴史と生活文化が今でも生きている富山の食文化の奥深さを紹介した。



「美味しんぼ」第84巻

## 富山のチューリップをPR

富山県のチューリップの球根出荷量が全国の56%を占め4,600万球に及ぶことや、青色のチューリップの開発が進められていることを紹介した。



4月14日 Japan FM Network「ヒルサイド・アベニュー」

## やっぱり、住みよい富山県

全国678都市を対象とした住みよさランキングで、住環境が充実していることなどから砺波市が2位に選ばれた。その他、100位以内に富山市、高岡市、黒部市、魚津市、滑川市が入っている。



都市データバック 2003年版

## 今後の予定

「ふるさと自慢コンサート」(滑川市)  
NHK ラジオ第一 6月1日(日)午後8:05～8:55

「NHKのど自慢」(小杉町)  
NHK 総合、衛星第2、ラジオ第一 6月29日(日)午後0:15～1:00

「ひるどき日本列島」～立山 山開き(仮)～  
NHK 総合 7月7日(日)午後0:20～0:43

富山県が全国で紹介された情報をお持ちでしたら、ぜひ県庁広報課までお知らせください。

## 県政クイズ

農林漁業体験を行いながら、自然の中で余暇を過ごす取り組みを「○○○○・ツーリズム」と言います。

(○○○○を埋めてください。)

→答えは3ページを読めばわかります。

### 応募方法

ハガキに、クイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本誌の感想を記載し、富山県庁広報課「県広報とやま6月号クイズ係」まで。  
締切/6月23日(月)(消印有効)

正解者の中から20名の方に、「とやま健康パーク」1日利用券をペアでプレゼントします。  
(当選の発表はプレゼントの発送をもってかえさせていただきます。)



## とやまの情報お伝えします!【6月の県政番組・お知らせ】 番組タイトルは、いずれも仮題です。

### こんにちは富山県です

北日本放送テレビ 毎週日曜 11:00～11:30

- 1日 命のカギを握る応急手当
- 8日 くらしを守るとやまの砂防
- 15日 住みよい家から住みたい家へ
- 22日 わがまち自慢～庄川町～
- 29日 交通事故ゼロを目指して

### とやまDASH! フォーカス・イン

富山テレビ 毎週日曜 9:00～9:30

- 1日 お仕事シリーズ第2弾
- 8日 とやまのめでたい物語り
- 15日 県内小学生スーパーキッズ
- 22日 富山海の幸 山の幸

### 富山が元気。見たモン勝ち2

チューリップテレビ 第4日曜 10:00～10:52

22日 とやまの中のインターナショナル

### とやま県間録

F M とやま 毎週月曜～木曜 11:30～11:40  
毎週土曜 11:30～11:55

- 新聞広報「県からのお知らせ」  
6月14日、28日の朝刊各紙に掲載予定
- 富山県ホームページ  
<http://www.pref.toyama.jp/>

## 編集部から

今月から誌面の一部を刷新いたしました。新しく始まった「県民のひろば」では、県民の皆さんのご意見、ご提案をお待ちしております。発行第400号を迎え、気持ちも新たに親しみやすい誌面づくりに心がけますので、今後ともご愛読願います。

県広報とやまは、隔月(偶数月)発行で新聞折込により各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧することができます。

「県広報とやま」に関する  
ご連絡、ご質問は

〒930-8501(県庁専用郵便番号、住所記入不要) 県庁広報課まで  
☎ 076(444)3134 FAX 076(444)3478 E-mail koho@pref.toyama.lg.jp  
ホームページ <http://www.pref.toyama.jp/sections/1101/1101.htm>